



by HARMAN

JBL ONBEAT™ AWAKE

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
- 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- 調理台や加温器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
- 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
- 音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

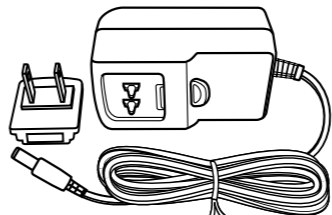
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本機の特長

- ◆ iPhone/iPod/iPadの音楽だけでなく、Bluetooth対応機器と接続して、映画、ゲーム、インターネットの音声をワイヤレスオーディオストリーミングすることが可能です。
- ◆ JBL AmpUp™ アプリを使って、曲を選ぶだけでなく、アラーム、スリープタイマーの設定、天気予報やスケジュールを表示させることが可能です。
- ◆ JBLならではのパワフルかつクリアなサウンドを提供します。
- ◆ 高品質なオーディオストリーミングを可能にするHARMAN TrueStream™ 搭載
- ◆ スリップストリームポート技術により、重厚な低音を提供。
- ◆ 3.5mmステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器・PCを接続して音声を再生することが可能です。
- ◆ iPhone/iPod/iPadを、ドックに乗せた状態で充電・再生ができます。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

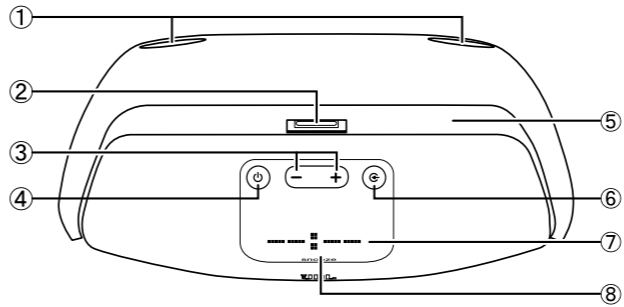


□ ACアダプタ・ソケット

- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

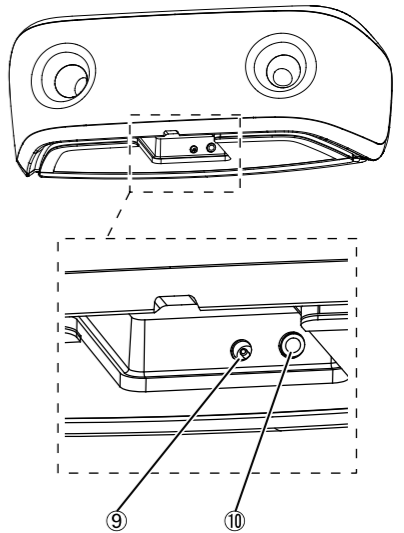
各部の名称とはたらき

▶ 本体上面



- 低音ポート**
低音を増強するエネルギーが出力されます。重厚な低音を楽しむため、本体背面を壁から5～8cm程度離して設置してください。
- ドックコネクター**
- 音量（＋/－）ボタン**
- 電源ボタン**
本機がオンのときに電源ボタンを押すと、スタンバイモードに入ります。
- ドッキンググルーヴ**
- ソースボタン**
- ディスプレイ**
- snooze（スヌーズ）ボタン**
アラームが鳴っているときに押すと、アラームを停止できます。

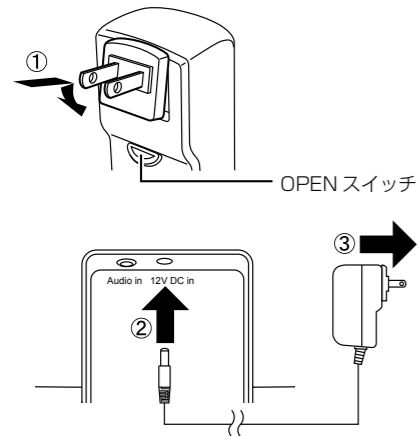
▶ 本体背面



- ⑨ 12V DC in（DC入力）端子
- ⑩ Audio in（オーディオ入力）端子

ご使用前の準備

▶ AC アダプタを接続する



- ① AC アダプタに付属のソケットをセットする。
ソケットの「TOP」と表記されている部分を上側にして、左図のように上部からはめ込みます。
カチッと音がするまでしっかりとセットしてください。
- ② AC アダプタを本体背面の 12V DC in 端子に接続する。
- ③ AC アダプタを壁面のコンセントに接続する。
本機は国内外でお使いいただけます。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。
AC アダプタをコンセントに接続すると本機の電源がオンになり、3 秒後に「-:-」が表示されます。
現在時刻を表示させたいときは、接続した機器の時計と同期させる必要があります。
 - iPhone/iPod/iPad をドック接続または Bluetooth 接続している場合、iPhone/iPod/iPad の時計と同期します。
 - 時計表示ができる Bluetooth 機器を接続している場合は、ペアリングが完了すると、機器の時計と同期します。

ソケットのはずし方

AC アダプタのソケット接続部の下にある OPEN スイッチを下側に引くと、ソケットをはずすことができます。

基本操作

▶ 電源を入れる / スタンバイモードにする

電源ボタンを押して、オン / スタンバイを切り換えます。電源がオンのときに押すと、スタンバイモードになります。

スタンバイモードのときは、snooze ボタンを押して電源をオンにすることもできます。

本機がスタンバイモードになると、ドックに接続した iPhone/iPod/iPad もスタンバイモードになります。

▶ 音量を調節する

音量 (+ / -) ボタンを押す。

+ ボタンと - ボタンを同時に押すと、ミュート (消音状態) になり、本機のディスプレイに「00」が表示されます。

解除するには、+ / - いずれかのボタンを押します。

▶ ソースを切り換える

ソースボタンを繰り返し押す。

押すごとに外部入力 (i) → iPhone/iPod/iPad (□) → Bluetooth (✱) の順にソースが切り換わります。

▶ ディスプレイの明るさを設定する

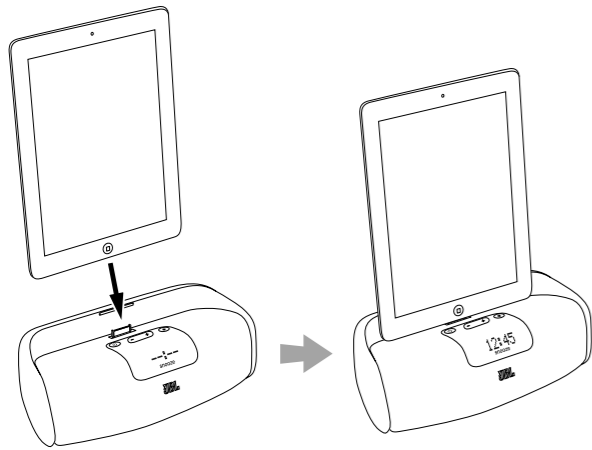
本機がオンの状態でオーディオ再生が停止しているときに snooze ボタンを押すと、ディスプレイの明るさを 3 段階 (明、中、暗) で調節できます。

▶ 時計の表示方法を切り換える

snooze ボタンを押し続けると、クロック表示が 12 時間と 24 時間の間で切り換わります。

iPhone・iPod・iPad の音声を聞く

- ① ソースボタンを押し、□ アイコンを表示させる。
- ② ドックコネクタに iPhone・iPod・iPad をしっかりと差し込む。



ドックコネクタ破損の原因になりますので、差し込むときに無理な力を加えたり、斜めに差し込まないでください。また、接続不良の原因になりますので、iPhone/iPod/iPad にカバーやジャケットを装着している場合は、必ず取りはずしてから接続してください。

初めて iPhone/iPod/iPad を接続すると、アプリケーションがインストールされていないことについてのメッセージが表示されます。
本機をお使いになるには、iPhone/iPod/iPad にアプリケーション (JBL AmpUp アプリ) がインストールされている必要があります。
アプリケーション (JBL AmpUp アプリ) のダウンロード / インストールについては「アプリケーション (JBL AmpUp) をインストールする」をご覧ください。

iPhone/iPod/iPad をドックコネクタに接続すると、iPhone/iPod/iPad が充電されます。

- ③ iPhone/iPod/iPad 上で「JBL AmpUp」を起動する。
- ④ 「JBL AmpUp」画面上部の「▶」マークをタップする。
再生が始まります。

ヒント

Bluetooth を介して iPhone/iPod/iPad とワイヤレス接続すると、本機のドックに接続することなく、ワイヤレスで音声を聞くことができます。設定方法について詳しくは「Bluetooth 機器の音声を聞く」をご覧ください。

Bluetooth 機器の音声を聞く

本機の Bluetooth 機能を使って iPhone/iPod/iPad や Bluetooth に対応したオーディオ機器と接続すると、パワフルかつクリアな音声を、ワイヤレスでストリーミング再生することが可能です。

▶ ペアリングを行う

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① ソースボタンを押し、Bluetooth アイコン (✱) を表示させる。
Bluetooth アイコン (✱) が点滅し、ペアリング設定状態になります。
Bluetooth アイコン (✱) が点灯しているときは、機器とペアリングされている状態を表しますので、新たにペアリングを行う必要はありません。
- ② iPhone/iPod/iPad を、ペアリング設定状態にする。
「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ③ デバイスから「OnBeat aWake」を選択します。
「接続されました」と表示されたらペアリングが完了し、本機の Bluetooth アイコン (✱) が点滅表示から点灯に変わります。

その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① ソースボタンを押し、Bluetooth アイコン (✱) を表示させる。
Bluetooth アイコン (✱) が点滅し、ペアリング設定状態になります。
Bluetooth アイコン (✱) が点灯しているときは、機器とペアリングされている状態を表しますので、新たにペアリングを行う必要はありません。

- ② 相手側機器を、ペアリング設定状態にする。
接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。
パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。
一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth アイコン (✱) が点滅表示から点灯に変わります。

別の機器をペアリングするには

Bluetooth アイコン (✱) が点滅表示されるまで、本機のソースボタンを押し続けます。または、ペアリングしている機器の Bluetooth をオフにします。

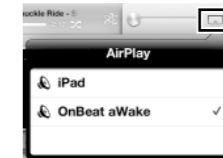
別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定する必要があります。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① 音楽再生時に、□ アイコンをタップする。



- ② 「OnBeat aWake」をタップする。

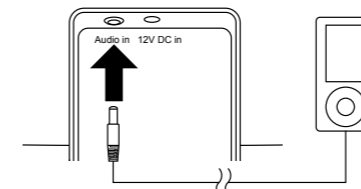
その他の機器で設定する

▶ 接続した機器で再生を始める。

接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

その他のオーディオ機器の音声を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



- ① 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブル (市販) を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の Audio in (オーディオ入力) 端子に接続する。
- ② ソースボタンを押し、外部入力アイコン (i) を表示させる。
- ③ オーディオ機器または PC で音声を再生する。

JBL AmpUp アプリについて

▶ アプリケーション (JBL AmpUp) をインストールする

本機で iPhone・iPod・iPad をお使いになるには、アプリケーション (JBL AmpUp アプリ) をインストールする必要があります。初めてお使いになる場合は、まずアプリケーションをダウンロード/インストールしてください。

- ① 本機のドックコネクタに iPhone・iPod・iPad を差し込む。
初めて接続した場合、iPhone/iPod/iPad の画面に以下のメッセージが表示されます。

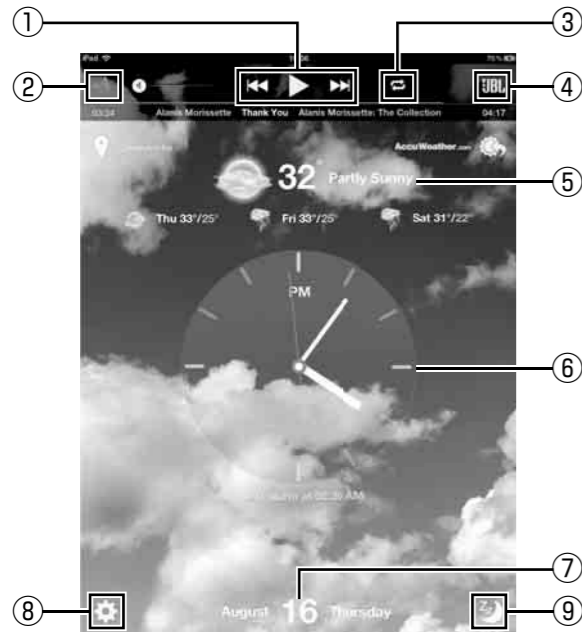
App がインストールされていません
このアクセサリを使用するために必要な App がインストールされていません。
App Store から App をインストールしますか？

- ② メッセージが表示されたら、「はい」をタップする。
App Store が起動し、ダウンロード画面が表示されます。
App Store が起動しなかったり、サイトが表示されない場合は、App Store の「検索」画面で「JBL AmpUp」と入力し検索してください。
- ③ 「APP をインストール」をタップして、アプリケーションをダウンロード/インストールする。
Apple ID、パスワードを入力してアプリケーションのダウンロード/インストールを行ってください。
JBL AmpUp アプリのダウンロードは無料*です。
※ ただし、アプリのダウンロードの際の通信料は、お客様の負担となります。

▶ JBL AmpUp の表示画面と各種設定

下記は iPad での表示例です。

iPhone/iPod の場合は、フリックして表示を切り換えます。



通常画面

① 再生操作アイコン

- ▶ : 再生を開始
- || : 再生を一時停止
- ▶▶ : 次の曲にスキップ
- ◀◀ : 前の曲にスキップ

② EQ アイコン

EQ モードを使って、再生する音声に適した音質を選ぶことができます。詳しくは「EQ モードを使用する」をご覧ください。

- ③ 再生モードアイコン (iPad のみ)
◁ : アルバム内の曲を繰り返し再生します。
↺ : 1 曲を繰り返し再生します。
↻ : アルバム内の曲をシャッフル再生します。

④ JBL アイコン

JBL のウェブサイトへの接続、ファームウェアのアップデート情報の確認や操作のヒントを表示します。(英語)

⑤ 現在時刻表示

⑥ 気象情報表示

現在地の気象情報を表示します。気象情報は、位置情報サービスがオンのときのみ*表示されます。

* 位置情報取得の際の通信料は、お客様の負担となります。

⑦ カレンダー表示

アラームが設定されている場合は、アラームの予定時刻を表示します。また、iPhone/iPod/iPad 標準アプリのカレンダーに予定を入れている場合は、予定を表示します。

⑧ 設定アイコン

設定画面を表示します。

⑨ スリープアイコン

スリープモードになります。

設定画面

JBL AmpUp は、曲名の日本語表示に対応していますが、設定画面は英語のみとなります。



① Location (現在地の設定)

変更したい場合は表示されている内容をタップします。

② Units (気温表示の単位)

摂氏 (°C) と華氏 (°F) を切り換えます。

③ Alarm (アラームの設定)

新しい設定を入力したい場合は「+」、設定を編集したい場合は「Edit」をタップします。詳しい設定方法については、「タイマー再生を使用する」をご覧ください。

④ Lullaby (スリープタイマーの設定)

新しい設定を入力したい場合は「+」、設定を編集したい場合は「Edit」をタップします。詳しい設定方法については、「スリープタイマーを使用する」をご覧ください。

⑤ ClockStyle (時計表示の設定)

「Analog」を選ぶとアナログスタイル、「Digital」を選ぶとデジタルスタイルの時計表示になります。

⑥ Disable autolock (自動ロック機能の解除)

iPhone/iPod/iPad の自動ロック機能を有効にするか解除するかを設定します。

オン (I) にすると、JBL AmpUp 起動中は、iPhone/iPod/iPad の自動ロック機能は解除されます。

自動ロック機能を有効にしたい場合は、オフ (O) に設定します。ただし、オフに設定すると、アラーム再生時音声は再生されないので、タイマー再生を使用している場合は、オン (I) に設定してください。

JBL AmpUp アプリについて (続き)

▶ EQ モードを使用する

再生する音声に適した音質を選ぶことができます。

EQ モードを使用するには、iPhone/iPod/iPad がドック接続されているか、Bluetooth で接続されている必要があります。

① EQ アイコン (EQ) をタップする。

② お好みのアイコンをタップする。

🎵 : ビデオ再生に適した音質

🎧 : 音楽再生に適した音質 (通常は、これをお選びください。)

🎮 : ゲーム音声の再生に適した音質

📶 : インターネットラジオの音声に適した音質

▶ スリープタイマーを使用する

スリープタイマーを設定する

① 画面左下の設定アイコンをタップする。

設定画面が開きます。

iPhone/iPod の場合は、画面をフリックして設定画面を表示させます。

② 「Lullaby」の右側の「+」をタップする。

スリープタイマー設定画面が開きます。



③ 「Music」で聞きたい曲を選ぶ。

選び終わったら「Done」をタップします。

④ 「Auto-Dim」のオン/オフを選ぶ。

オンにすると、設定した時間になったときに本機がスタンバイモードになります。

⑤ 電源がオフになるまでの時間を選ぶ。

フリックして時間を設定します。
1 分～10 分までは 1 分刻み、10 分～90 分までは 5 分刻みで設定できます。

⑥ すべての設定が終わったら「Done」をタップする。

設定を取り消したい場合は「Cancel」をタップしてください。

設定された内容は iPhone/iPod/iPad に記憶されます。

スリープタイマーの設定情報を変更する

① 「Lullaby」の左側の「Edit」をタップする。

複数のスリープタイマーの設定がある場合は、変更したい設定をタップする。

② 変更したい設定内容をタップする。

スリープタイマーの設定画面が開きます。

「スリープタイマーを設定する」の手順②から⑥で、変更したい内容をタップして設定してください。

設定が終わったら「Done」をタップします。

スリープタイマーの設定情報を削除する

① 「Lullaby」の左側の「Edit」をタップする。

② 削除したい設定内容の左側の「⊖」をタップする。

アイコンが「⊖」から「⓪」に変わります。

削除したくない場合は、「Done」をタップしてください。

③ 「Delete」をタップする。

設定が削除されます。

▶ タイマー再生を使用する

iPad でタイマー再生を設定する

① 画面左下の設定アイコンをタップする。

設定画面が開きます。

② 「Alarm」の右側の「+」をタップする。

アラーム設定画面が開きます。



③ 「Theme」をタップしてタイマー再生のソースを選ぶ。

「Slideshow」または「Music」から選びます。

「Slideshow」を選んだ場合

まず、「Pictures」をタップして写真を選びます。(選んだ写真がスライドショーで再生されます。)

そのあと「Music」をタップしてタイマー再生したい曲を選びます。曲を選ぶには、曲名の右側にある「+」をタップします。全曲選びたい場合は「Add All Songs」の右側にある「+」をタップします。選び終わったら、「Done」をタップします。

「Music」を選んだ場合

タイマー再生したい曲を選びます。曲を選ぶには、曲名の右側にある「+」をタップします。全曲選びたい場合は「Add All Songs」の右側にある「+」をタップします。

選び終わったら、「Done」をタップします。

設定が終わったら「Add Alarm」をタップします。

④ 「Snooze Time」をタップしてスヌーズ機能の時間または off を選ぶ。

snooze ボタンを押してから、再びタイマー再生が開始されるまでの時間を設定します。

「off」を選ぶとスヌーズ機能はオフになり、snooze ボタンを押した時点でタイマー再生が停止します。

設定が終わったら「Add Alarm」をタップします。

⑤ タイマー再生時の音量を選ぶ。

音量バーをスライドさせて、音量を設定します。

⑥ タイマー再生したい曜日、時間を設定する。

「Sun (日曜日)」～「Sat (土曜日)」から選びます。タイマー再生を行いたい曜日をタップします。

すべての曜日を設定すると、タイマー再生は毎日行われます。

そのあと、曜日の下の時刻の部分のスライドさせて、タイマー再生の開始時刻を設定します。

⑦ すべての設定が終わったら「Done」をタップする。

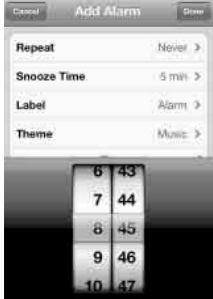
⑧ 画面右下のナイトモードアイコン (🌙) をタップする。

スタンバイモードになります。設定した時間になると電源がオンになり、設定したソースが再生されます。

JBL AmpUp アプリについて（続き）

iPhone/iPod でタイマー再生を設定する

- ① 画面を右にフリックして設定画面を表示させる。設定画面が開きます。
- ② 「Alarm」の右側の「+」をタップする。アラーム設定画面が開きます。



- ③ 「Repeat」をタップして、タイマー再生を行いたい曜日を選ぶ。「Every Monday（毎週月曜日）」～「Every Sunday（毎週日曜日）」から選びます。タイマー再生を行いたい曜日をタップします。すべての曜日に設定すると、タイマー再生は毎日行われます。設定が終わったら「Add Alarm」をタップします。
- ④ 「Snooze Time」をタップして、スヌーズ機能の時間または off を選ぶ。snooze ボタンを押してから、再びタイマー再生が開始されるまでの時間を設定します。「off」を選ぶとスヌーズ機能はオフになり、snooze ボタンを押した時点でタイマー再生が停止します。設定が終わったら「Add Alarm」をタップします。
- ⑤ 「Label」をタップして、アラームの名称を設定する。複数のタイマー再生を設定したときに、設定がわかりやすくなるように名称を変更することができます。名称を変更しない場合は、次の手順に進んでください。名称を設定したときは、「Add Alarm」をタップします。
- ⑥ 「Theme」をタップしてタイマー再生のソースを選ぶ。「Slideshow」または「Music」から選びます。

「Slideshow」を選んだ場合

まず、「Pictures」をタップして写真を選びます。（選んだ写真がスライドショーで再生されます。）

そのあと「Music」をタップしてタイマー再生したい曲を選びます。曲を選ぶには、曲名の右側にある「+」をタップします。全曲選びたい場合は「Add All Songs」の右側にある「+」をタップします。

選び終わったら、「Done」をタップします。

「Music」を選んだ場合

タイマー再生したい曲を選びます。曲を選ぶには、曲名の右側にある「+」をタップします。全曲選びたい場合は「Add All Songs」の右側にある「+」をタップします。

選び終わったら、「Done」をタップします。

設定が終わったら「Add Alarm」をタップします。

- ⑦ タイマー再生時の音量を選ぶ。音量バーをスライドさせて、音量を設定します。
- ⑧ タイマー再生の開始時刻を設定する。時刻の部分のスライドさせて設定します。

- ⑨ すべての設定が終わったら「Done」をタップする。設定を取り消したい場合は「Cancel」をタップしてください。設定された内容は iPhone/iPod/iPad に記憶されます。
- ⑩ 画面を左にフリックして、ナイトモードにする。スタンバイモードになります。設定した時間になると電源がオンになり、設定したソースが再生されます。

タイマー再生の設定情報を変更する

- ① 「Alarm」の左側の「Edit」をタップする。
- ② 変更したい設定内容をタップする。タイマー再生の設定画面が開きます。変更したい内容をタップして設定してください。設定が終わったら「Done」をタップします。

タイマー再生の設定情報を削除する

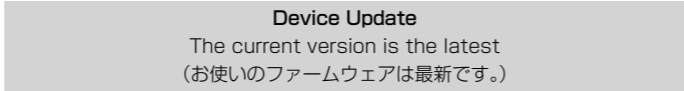
- ① 「Alarm」の左側の「Edit」をタップする。
- ② 削除したい設定内容の左側の「⊖」をタップする。アイコンが「⊖」から「①」に変わります。削除したくない場合は、「Done」をタップしてください。
- ③ 「Delete」をタップする。設定が削除されます。

▶ ファームウェアをアップデートする

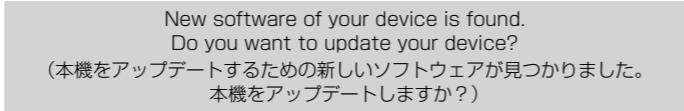
本機のファームウェアは、ドック接続している iPhone/iPod/iPad にインストールされている JBL AmpUp からアップデートすることができます。ファームウェアをアップデートする際は、以下の点にご注意ください。

- アップデートは必ず iPhone/iPod/iPad をドック接続した状態で行ってください。
- 通信が安定している状態で行ってください。
- アップデート実行中は、絶対に本機の電源をオフにしないでください。ファームウェアのアップデート中に電源をオフにすると、本機が正常に起動しなくなる恐れがあります。

- ① JBL AmpUp 画面の「JBL」アイコンをタップする。
- ② 「About」をタップする。
- ③ 「Firmware Upgrade」をタップする。下記が表示された場合、ファームウェアは最新ですのでアップデートの必要はありません。



下記が表示された場合、最新のファームウェアにアップデートできます。



アップデートしたい場合は「Yes」、前の画面に戻りたいときは「No」をタップします。

「Yes」をタップすると、最新のファームウェアがダウンロードされ、本機がアップデートされます。

アップデート中は、本機のディスプレイで「upg」が点滅し、アップデートが完了すると時計表示に戻ります。

最後に、iPhone/iPod/iPad 画面の「OK」をタップして、アップデートを終了します。

ご注意

- iPod によっては、すべての機能がお使いいただけない場合があります。
- 最新の対応状況については、弊社ホームページに掲載いたします。また、サポート情報はメールなどでもご案内いたしますので、オンラインご愛用者登録をおすすめいたします。

- iPhone・iPod・iPad のファームウェアアップデートによって、現在お使いいただける機能の一部が制限される可能性があります。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	AC アダプタが正しく接続されていることをご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	iPhone/iPod/iPad をドック接続している場合、ドックコネクタの根元まで接続されているかご確認ください。 Bluetooth を使用している場合は、お手持ちの機器で正しく設定されていることをご確認ください。 Audio in（オーディオ入力）端子にオーディオ機器・PC を接続している場合、音量をご確認ください。 iPhone/iPod/iPad の再生が一時停止になっていないかご確認ください。 音声ミュートされていないかご確認ください。 音量を上げてください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。別の機器と接続しているときは、Bluetooth アイコンが点灯します。ペアリングを行うためには、Bluetooth アイコンが点滅している必要があります。

主な仕様

定格出力	7 W × 2
Bluetooth	Bluetooth2.1+EDR
システム周波数特性	100Hz～20kHz
対応プロファイル	GAP (Generic Access Profile) SDP (Service Discovery Profile) HFP (Hands Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
周波数	2.400GHz～2.4835GHz
周波数変調方式	FHSS (周波数拡散方式)
伝送距離	Class2 最大半径 10 m (障害なきこと)
音声入出力	Bluetooth 入力× 1、 3.5mm ステレオミニ入力× 1 ドックコネクタ× 1
電源	AC アダプタ (100V～240V (50Hz / 60Hz))
消費電力	30W 以下
外形寸法	幅 270 mm × 奥行 130 mm × 高さ 98 mm
質量	950 g

*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ オンラインご愛用者登録のご案内

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では JBL 製品のご購入者を対象に、ホームページ上にてオンラインご愛用者登録を行っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など JBL 製品の最新情報をお送りいたします。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://www.harman-japan.co.jp/>

対応する iPhone・iPod・iPad について

本機のドック接続に対応している iPhone、iPod、iPad は次のとおりです。（2012年8月現在）

- iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G
- iPod touch（第2～第4世代）
- iPod nano（第1～第6世代）
- iPad（第3世代）、iPad 2、iPad